



燦さんらん 爛

先週4日(木)に始業式を行った令和6年度ですが、その翌日である5日(金)には入学式を挙行了しました。

今年の新入生21名は、2月の新入生学校説明会以来の登校となりましたが、中学校の制服に身を包んだ皆さんは、すっかり大人っぽくなった印象です。

新たに21名が仲間入り 第69期生入学式



本校では、新入生は当日練習のみで式本番を迎える形をとっていますが、みんな落ち着きのある立派な態度で式に参加することができていました。氏名点呼の際の返事もみんな元気よく、やる気にあふれたものだったと思います。



式では、氏名点呼、校長式辞、PTA会長さんからの祝辞に続き、在校生代表のH. Aさんからは歓迎の言葉が、新入生代表のS. Iさんからは誓いの言葉が述べられました。迎える在校生の力強い励ましと、新入生のあふれる希望と高い志、それぞれの気持ちが込められた素敵なお話でした。



この入学式をもって、全校生徒63名での令和6年度の学校生活が本格的にスタートしました。校長式辞の中で、「西中五つの心(素直、感謝、奉仕、反省、思いやり)」についてお話しましたが、新入生の皆さんには、先輩たちから西中生としてのあるべき姿をよく見て学んでほしいと思いますし、2,3年生の皆さんには、西中のよさである学年を超えた仲の良さを生かし、1年生が一日も早く学校生活に慣れるよう手助けしてほしいと思います。

歓迎の言葉

在校生代表 H. A

桜前線が北上し、校庭の桜のつぼみも色づき始めました。

本日、晴れて入学の日を迎えられた新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

私たちは、みなさんのご入学を心待ちにしておりました。六年間過ごしてきた思い出の校舎から、ここ大曲西中学校にステージを移しての新しい生活が、今日から始まります。

今、みなさんは、中学校での生活を楽しみにし、大きな期待を膨らませていることと思います。そして、分からないことや不安もあることでしょう。一年前、二年前の自分たちも、今のみなさんと同じでした。でも、安心してください。先輩方が力強く支えてくれます。そのおかげで不安は少しずつ消え、自信がついていきます。新入生のみなさん、どうか遠慮しないで、いろいろな人とどんどん会話をしてください。優しく頼れる人ばかりです。きっとみなさんの力になります。

中学校は、楽しいことややりがいのあることばかりです。

昨年度、新入生のみなさんが応援してくれた部活動の壮行会。

生徒会最大の行事である西中祭。全校生徒が笑顔いっぱいの前日祭。

生徒集会の時に全校生徒でお互いの誕生日を祝うハッピープロジェクト。

今年度は、生徒会活動、委員会活動をさらに活発にして、これまで以上に地域に愛される大曲西中学校を目指していきます。新入生のみなさん、何にでも全力で取り組み、よりよい自分、集団、大曲西中学校を、一緒につくっていきましょう。私たちは、全校生徒が力を合わせれば、さらに一人一人が輝く西中をつくっていけると、確信しています。

新入生のみなさん、ともに頑張っていきましょう。みなさんの真剣なまなざし、笑顔あふれる毎日を楽しみにしています。



やわらかな日の光とともに、暖かいそよ風が吹く季節となりました。この良き日に、新しい制服に身を包み、私たち21名はたくさんの方々へ支えられ、無事に大曲西中学校に入学できたことをとてもうれしく思っています。本日は、私たち新入生のために、このような立派な入学式を行っていただきありがとうございます。



三月の卒業式では、小学校をはなれるさびしさや悲しさがたくさんある中、一生忘れることのできないすばらしい卒業式にすることができました。今日から、私たちは中学生としての自覚をもち、中学校生活の三年間を文武両道で頑張っていきたいと思えます。

私が中学校生活で大切にしていきたいことは学習です。中学校では小学校とは違い、教科によって教えてくださる先生が変わることや、新しい教科があるということを知りました。最初は授業についていけるか不安ですが、小学校で習ってきたことを生かし、授業に真剣に取り組んでいきたいと思っています。そして日々の家庭学習での予習や復習をしっかりとこない、問題を解く力や文章を読む力、考える力を身に付けていきたいと思っています。

また、たくさんのお会いを大切に、仲間とのきずなを深め、この三年間で最高の思い出を作っていきたいと思えます。これから中学校生活が始まり、私たち、新入生も大曲西中学校の一員です。より良い学校になるように精一杯努力していきます。「自主・協調」の校訓のもと、先輩方が築き上げてきた大曲西中学校の伝統を、私たち新入生も受け継ぐことができるように頑張ります。

これまでとは違う環境で、初めて挑戦することがたくさんあると思えます。そこでは自分たちで解決できないことが出てくると思えます。そのときは先生方や先輩方からたくさんのアドバイスやご指導をしていただきたいと思えますので、よろしくお願ひします。

私たち新入生は、人生に一度きりしかない中学校生活を存分に楽しみ、中学生としての自覚を忘れずに過ごしていきます。そして一人一人、自分の夢をもち、仲間と助け合い、力を合わせて新たな目標に向かって、日々努力をする西中生となることを誓います。

入学式を終え、週明けからは1年生も本格的な中学校生活が始まっています。そんな中、8日(月)の5、6校時には、交通安全教室を行いました。



中学校では多くの生徒が自転車通学をしています。本校の通学路は、交通量が多い箇所も多いため、安全な登下校を以前から重要視しており、1年生には、なるべく早いうちに正しい自転車通学のルールやマナーを身に付けてほしいことから、毎年この時期に交通安全教室を行っています。

この日は、内小友駐在所のK巡査が来校してくださり、以下のようなお話をいただきました。



内小友駐在所のK巡査

- ・大仙市内での自転車の事故はあまり起きていないが、横断時の一時停止や左右の確認などを十分に行うことが事故の防止につながるの、しっかり行ってほしい。
- ・ヘルメットの着用が努力義務となった。ヘルメットを着用することで事故時の死亡率が半減するので、着用を徹底してほしい。
- ・本校は、帰りが下り坂になるが、帰りは疲れから注意が散漫になりがちなので、十分注意してほしい。
- ・自転車は、被害者にも加害者にもなり得る乗り物である。加害者になってしまうと、数千万円もの賠償金が発生することもあるので、被害者にも加害者にもならないようにしてほしい。



生活安全委員の説明

続いて生活安全委員から、自転車点検のポイントや自転車通学の際の注意点などを説明してもらい、その後は外に出て、自転車点検と1年生の路上実施訓練を行いました。路上実施訓練は、2年生が先導して通学路を通り、ルールの確認をします。交差点や丁字路などでの一時停止や横断の仕方、一列走行の遵守などについてしっかり確認してもらいました。



路上実施訓練

朝の街頭指導でのPTAの協力にも感謝

今年の「春の全国交通安全運動」は、4月6日(土)から15日(月)までとなっています。本校ではこれに合わせ、8日(月)から12日(金)の朝に、街頭指導を行っています。生活安全委員の生徒や教職員のほか、PTAの校外指導部の皆さんにもご協力いただいています。お忙しい中のご協力に感謝申し上げます。